

# 宮城県企業のメインバンク、 七十七銀行、シェア 55% でトップ

上位 8 行、地元金融機関で占める

## 宮城県・「メインバンク」動向調査(2025 年)



本件照会先

紺野 啓二（調査担当）  
帝国データバンク  
仙台支店情報部  
022-221-3480(直通)  
情報部:sendai.j@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/01/09

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2025 年宮城県のメインバンク調査では、七十七銀行がトップ(1.4 万社)となり、シェアは 55%で 2 位以下を大きく引き離し、引き続き圧倒的な存在感を示した。上位8行までを地元金融機関が占め、合計で 83%のシェアとなった。

「業種別」では、すべての業種で七十七銀行がトップで、農協や漁協が上位に入ってくる「その他」(農林水産など)以外は、仙台銀行・杜の都信金の順となった。「売上規模別」では、売上規模が大きくなるにつれてメガバンクなどの県外金融機関の存在が大きくなっている。

帝国データバンク仙台支店は、2025 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」(約 150 万社収録、特殊法人・個人事業主含む)をもとに、企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした

[注]本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

## トップ 10 は前年と同順位、地元上位 3 行でシェア 75%

宮城県内の企業がメインバンクと認識している上位 30 行は表の通り。1 位は、「七十七銀行」(仙台市)で、1 万 3 964 社、55.46%のシェアを占めた。2 位以下を 40 ポイント以上引き離し、引き続き 5 割超の圧倒的なシェアを確保している。2 位は、「仙台銀行」(仙台市、3 286 社、同 13.05%)、3 位は、「杜の都信金」(仙台市、1 467 社、同 5.83%)となり、地元上位 3 行のシェア合計は 74.34%となった。

4 位は、「仙南信金」(白石市、598 社、同 2.38%)、5 位は、「石巻商工信組」(石巻市、509 社、同 2.02%)と続き、上位 8 行までを地元金融機関が占めた。県外に本店を置く金融機関は、盛岡市の「北日本銀行」(9 位)、山形市の「きらやか銀行」(10 位)となり、トップ 10 は前年と同順位。メガバンクでは、「三菱UFJ銀行」(13 位)が最高で、「みずほ銀行」(14 位)、「三井住友銀行」(15 位)となった。

### 宮城県メインバンク社数 上位 30 行

2025年						2024年				
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	13,964	+85	55.46%	▲ 0.46	1	13,879	+108	55.92%	▲ 0.30
2	仙台	3,286	+52	13.05%	+0.02	2	3,234	+37	13.03%	▲ 0.02
3	杜の都信金	1,467	±0	5.83%	▲ 0.08	3	1,467	▲ 17	5.91%	▲ 0.15
4	仙南信金	598	+1	2.38%	▲ 0.03	4	597	▲ 4	2.41%	▲ 0.04
5	石巻商工信組	509	+6	2.02%	▲ 0.01	5	503	+1	2.03%	▲ 0.02
6	石巻信金	451	+8	1.79%	+0.01	6	443	+13	1.78%	+0.02
7	気仙沼信金	357	±0	1.42%	▲ 0.02	7	357	+3	1.44%	▲ 0.01
8	宮城第一信金	356	±0	1.41%	▲ 0.02	8	356	▲ 6	1.43%	▲ 0.05
9	北日本	319	▲ 5	1.27%	▲ 0.04	9	324	▲ 5	1.31%	▲ 0.03
10	きらやか	279	▲ 5	1.11%	▲ 0.03	10	284	+3	1.14%	▲ 0.01
11	東北	237	+2	0.94%	▲ 0.01	11	235	±0	0.95%	▲ 0.01
12	岩手	212	+1	0.84%	▲ 0.01	13	211	±0	0.85%	▲ 0.01
13	三菱UFJ	208	▲ 7	0.83%	▲ 0.04	12	215	▲ 1	0.87%	▲ 0.01
14	みずほ	190	▲ 4	0.75%	▲ 0.03	14	194	±0	0.78%	▲ 0.01
15	三井住友	187	▲ 6	0.74%	▲ 0.04	15	193	▲ 6	0.78%	▲ 0.03
16	古川信組	176	±0	0.70%	▲ 0.01	17	176	▲ 12	0.71%	▲ 0.06
17	商工中金	173	▲ 4	0.69%	▲ 0.02	16	177	▲ 6	0.71%	▲ 0.04
18	山形	154	+3	0.61%	±0.00	18	151	▲ 2	0.61%	▲ 0.01
19	常陽	129	▲ 5	0.51%	▲ 0.03	19	134	▲ 2	0.54%	▲ 0.02
20	仙北信組	125	▲ 3	0.50%	▲ 0.02	20	128	▲ 9	0.52%	▲ 0.04
21	東邦	107	+11	0.42%	+0.03	21	96	▲ 8	0.39%	▲ 0.03
22	新みやぎ農協	80	+9	0.32%	+0.03	22	71	+3	0.29%	+0.01
23	ゆうちょ	64	+11	0.25%	+0.04	26	53	+1	0.21%	±0.00
24	一関信金	58	±0	0.23%	±0.00	24	58	▲ 1	0.23%	▲ 0.01
25	りそな	55	▲ 4	0.22%	▲ 0.02	23	59	+1	0.24%	±0.00
26	秋田	53	▲ 4	0.21%	▲ 0.02	25	57	▲ 4	0.23%	▲ 0.02
27	仙台農協	52	-	0.21%	-	-	-	-	-	-
28	荘内	51	▲ 1	0.20%	▲ 0.01	27	52	+3	0.21%	+0.01
29	青森みちのく	41	-	0.16%	-	-	-	-	-	-
30	北都	40	▲ 5	0.16%	▲ 0.02	28	45	▲ 2	0.18%	▲ 0.01

☆27位の「仙台農協」は2025年4月に4つの農協が合併して発足したため、前年は空欄(-)

☆29位の「青森みちのく銀行」は2025年1月に青森銀行とみちのく銀行が合併して発足したため、前年は空欄(-)

# 業種別、すべて「七十七銀行」がトップ、 「その他」(農林水産など)以外「仙台銀行」「杜の都信金」の順

## 業種別上位 10 行

### 建設業

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	4,485	+12	56.58%	±0.00
2	仙台	1,193	+13	15.05%	+0.12
3	杜の都信金	596	+8	7.52%	+0.08
4	仙南信金	258	+5	3.25%	+0.05
5	石巻商工信組	198	▲ 1	2.50%	▲ 0.02
6	石巻信金	190	▲ 1	2.40%	▲ 0.02
7	宮城第一信金	127	▲ 3	1.60%	▲ 0.04
8	気仙沼信金	104	▲ 9	1.31%	▲ 0.12
9	東北	83	+2	1.05%	+0.03
10	きらやか	77	±0	0.97%	±0.00

### 製造業

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	1,027	±0	56.77%	+0.03
2	仙台	220	±0	12.16%	+0.01
3	杜の都信金	78	+1	4.31%	+0.06
4	石巻商工信組	43	+1	2.38%	+0.06
5	仙南信金	37	▲ 2	2.05%	▲ 0.10
6	気仙沼信金	33	+1	1.82%	+0.05
7	商工中金	31	±0	1.71%	±0.00
8	石巻信金	30	±0	1.66%	±0.00
9	北日本	28	▲ 1	1.55%	▲ 0.05
10	宮城第一信金	27	+1	1.49%	+0.05

### 卸売業

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	1,283	▲ 18	56.52%	▲ 0.17
2	仙台	246	±0	10.84%	+0.12
3	杜の都信金	129	▲ 1	5.68%	+0.02
4	北日本	61	▲ 2	2.69%	▲ 0.06
5	石巻商工信組	53	▲ 2	2.33%	▲ 0.07
6	仙南信金	43	▲ 1	1.89%	▲ 0.03
6	石巻信金	43	+2	1.89%	+0.10
8	気仙沼信金	40	+1	1.76%	+0.06
9	三菱UFJ	36	▲ 2	1.59%	▲ 0.07
10	みずほ	35	▲ 4	1.54%	▲ 0.16

### 小売業

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	1,431	▲ 19	52.38%	+0.13
2	仙台	417	+2	15.26%	+0.31
3	杜の都信金	192	▲ 11	7.03%	▲ 0.29
4	石巻商工信組	80	+1	2.93%	+0.08
4	仙南信金	80	▲ 2	2.93%	▲ 0.02
6	気仙沼信金	63	▲ 1	2.31%	±0.00
7	石巻信金	49	▲ 4	1.79%	▲ 0.12
8	北日本	38	+1	1.39%	+0.06
8	きらやか	38	▲ 1	1.39%	▲ 0.02
10	宮城第一信金	37	▲ 3	1.35%	▲ 0.09

### 運輸・通信業

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	454	+13	47.54%	+0.97
2	仙台	159	±0	16.65%	▲ 0.14
3	杜の都信金	54	±0	5.65%	▲ 0.05
4	石巻商工信組	48	▲ 1	5.03%	▲ 0.14
5	商工中金	31	▲ 3	3.25%	▲ 0.34
6	石巻信金	28	+1	2.93%	+0.08
7	仙南信金	25	+2	2.62%	+0.19
8	気仙沼信金	17	±0	1.78%	▲ 0.02
9	宮城第一信金	16	▲ 1	1.68%	▲ 0.12
10	三菱UFJ	13	▲ 1	1.36%	▲ 0.12

### サービス業

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	3,870	+87	56.60%	▲ 1.65
2	仙台	771	+29	11.28%	▲ 0.15
3	杜の都信金	273	+11	3.99%	▲ 0.04
4	仙南信金	110	▲ 1	1.61%	▲ 0.10
5	石巻信金	78	+8	1.14%	+0.06
6	気仙沼信金	77	+8	1.13%	+0.07
7	北日本	73	▲ 1	1.07%	▲ 0.07
8	きらやか	72	▲ 1	1.05%	▲ 0.07
9	宮城第一信金	70	▲ 1	1.02%	▲ 0.07
10	石巻商工信組	66	+5	0.97%	+0.03

### 不動産業

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	1,088	±0	58.12%	▲ 0.75
2	仙台	204	+10	10.90%	+0.40
3	杜の都信金	127	▲ 7	6.78%	▲ 0.47
4	宮城第一信金	46	+5	2.46%	+0.24
5	きらやか	40	±0	2.14%	▲ 0.02
6	仙南信金	32	+1	1.71%	+0.03
7	北日本	27	+1	1.44%	+0.03
8	三菱UFJ	24	+1	1.28%	+0.04
9	三井住友	23	▲ 2	1.23%	▲ 0.12
10	石巻信金	21	+1	1.12%	+0.04

### その他

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア前年比
1	七十七	326	+10	42.06%	▲ 0.36
2	仙台	76	▲ 2	9.81%	▲ 0.66
3	新みやぎ農協	52	+8	6.71%	+0.80
4	みやぎ仙南農協	18	+1	2.32%	+0.04
4	仙台農協	18	-	2.32%	-
4	杜の都信金	18	▲ 1	2.32%	▲ 0.23
7	加美よつば農協	17	+6	2.19%	+0.71
8	宮城県漁協	14	▲ 2	1.81%	▲ 0.34
8	いしのまき農協	14	±0	1.81%	▲ 0.07
8	みやぎ登米農協	14	+1	1.81%	+0.07

4位の「仙台農協」は2025年4つの農協が合併して発足したため前年比は空欄(-)

## 売上規模別、すべて「七十七銀行」が 5 割超、 10 億円以上メガバンクが 5 位以内へ

### 売上規模別上位 10 行

#### 売上高5000万円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	5,270	+63	55.66%	▲ 0.98
2	仙台	1,244	+31	13.14%	▲ 0.05
3	杜の都信金	608	+2	6.42%	▲ 0.17
4	仙南信金	235	+1	2.48%	▲ 0.07
5	石巻商工信組	198	+5	2.09%	▲ 0.01
6	気仙沼信金	177	±0	1.87%	▲ 0.06
7	石巻信金	172	+11	1.82%	+0.07
8	宮城第一信金	132	▲ 1	1.39%	▲ 0.06
9	東北	93	+3	0.98%	±0.00
10	北日本	91	▲ 3	0.96%	▲ 0.06

#### 売上高5000万円～1億円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	2,568	▲ 2	54.85%	▲ 0.57
2	仙台	619	▲ 2	13.22%	▲ 0.17
3	杜の都信金	346	+5	7.39%	+0.04
4	仙南信金	132	+6	2.82%	+0.10
5	石巻商工信組	101	▲ 11	2.16%	▲ 0.26
6	石巻信金	92	▲ 2	1.96%	▲ 0.07
7	宮城第一信金	78	+8	1.67%	+0.16
8	気仙沼信金	70	+4	1.50%	+0.08
9	北日本	65	+7	1.39%	+0.14
10	きらやか	60	+6	1.28%	+0.12

#### 売上高1～5億円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	4,175	+10	54.78%	▲ 0.20
2	仙台	1,105	+28	14.50%	+0.28
3	杜の都信金	428	▲ 4	5.62%	▲ 0.08
4	仙南信金	192	▲ 5	2.52%	▲ 0.08
5	石巻商工信組	171	+12	2.24%	+0.14
6	石巻信金	160	+1	2.10%	±0.00
7	宮城第一信金	111	▲ 10	1.46%	▲ 0.14
8	北日本	103	▲ 5	1.35%	▲ 0.08
9	きらやか	93	▲ 8	1.22%	▲ 0.11
10	気仙沼信金	89	▲ 1	1.17%	▲ 0.02

#### 売上高5～10億円未満

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	836	+7	57.22%	+0.24
2	仙台	171	+5	11.70%	+0.29
3	杜の都信金	52	▲ 1	3.56%	▲ 0.08
4	商工中金	32	+3	2.19%	+0.20
4	北日本	32	±0	2.19%	▲ 0.01
6	きらやか	26	▲ 1	1.78%	▲ 0.08
7	石巻商工信組	25	▲ 2	1.71%	▲ 0.15
8	三井住友	24	▲ 1	1.64%	▲ 0.08
9	仙南信金	23	▲ 3	1.57%	▲ 0.22
10	三菱UFJ	22	▲ 4	1.51%	▲ 0.28

#### 売上高10～50億円

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	820	▲ 1	59.85%	+0.14
2	仙台	128	+2	9.34%	+0.18
3	商工中金	44	▲ 2	3.21%	▲ 0.14
4	みずほ	35	▲ 1	2.55%	▲ 0.07
5	三菱UFJ	33	±0	2.41%	+0.01
6	杜の都信金	30	▲ 1	2.19%	▲ 0.06
7	三井住友	28	▲ 2	2.04%	▲ 0.14
8	常陽	27	▲ 4	1.97%	▲ 0.28
9	北日本	24	▲ 4	1.75%	▲ 0.29
10	きらやか	18	+2	1.31%	+0.15

#### 売上高50億円以上

順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	七十七	229	+10	53.38%	+1.36
2	みずほ	42	±0	9.79%	▲ 0.19
3	三井住友	29	±0	6.76%	▲ 0.13
4	三菱UFJ	18	▲ 3	4.20%	▲ 0.79
5	仙台	11	▲ 1	2.56%	▲ 0.29
6	常陽	7	±0	1.63%	▲ 0.03
7	農林中金	6	▲ 2	1.40%	▲ 0.50
7	商工中金	6	±0	1.40%	▲ 0.03
7	岩手	6	+1	1.40%	+0.21
10	東邦	4	±0	0.93%	▲ 0.02

## メインバンクの選考条件は「低金利」以外に拡大、 再編加速で注目される東北の金融機関

日本銀行が 2024 年 3 月に政策金利の引き上げを表明して以降、金融機関では企業の借り換え局面などで利上げの交渉を進める動きが活発化しており、地域金融機関は「金利のある世界」に適応しつつある。実際に、帝国データバンクが全国の企業約 103 万社・850 万期分の決算書データを対象に分析した結果、2024 年度決算における平均借入金利は 1.20% となり、前年を 0.16pt 上回る大幅な上昇を記録した。こうした金融環境の変化により、コロナ禍前まで続いた超低金利での貸出によるシェア拡大競争からの決別が進んでいる。

また、企業の資金調達に関して金融機関の位置づけに変化がみられ、口座維持コストの安さや、迅速な融資決定力を武器にシェア拡大を続けているネット銀行など新興勢力のシェアが近年急拡大している。特に創業直後のスタートアップ、事業を承継した若手代表者が経営する企業などでは、取引銀行の選考条件として金利条件よりも対応の質やスピードを重視する傾向が強まっているほか、借入金を必要としない小規模企業を中心に、確たるメインバンクを必要としないケースも増えている。こうした企業と金融機関の関係変化は、現状では企業が集積する都市部に限定されてはいるものの、今後は地方でも広がる可能性がある。低コストで安定した資金を確保し、企業への融資などで利ザヤを稼ぐ預金貸出ビジネスを維持してきた東北などの地域金融機関にとっては、スピード面や利便性で優位に立つネット銀行など新興勢力が徐々に脅威へと変化すること も想定されよう。

2026 年には「企業価値担保権」を設定した融資もスタートし、地域金融機関が長年取り組んできた、知的資産や技術力などを測る事業性評価の総合力が試される局面に突入する。また、店舗の統廃合による経営コストの削減から、コンサルティングなど特定の機能に特化した店舗開設などを進めるなど、縮小一辺倒だった営業拠点を再度復活させる動きが目立つようになってきた。メインバンクとして支援する店舗型金融機関は、技術やビジネスモデルに対する目利き力、販路拡大、人材育成など、地域の中小企業が抱える課題にきめ細かく対応できる「良きパートナー」としての存在感をどう誇示できるかが注目される。

東北では、2025 年 1 月 1 日に青森銀行とみちのく銀行が合併して「青森みちのく銀行」が誕生した。また、2027 年 1 月 1 日には荘内銀行と北都銀行が合併し「フィデア銀行」が誕生する予定である。日本銀行は 2025 年 12 月に政策金利を 0.5% から 0.75% に利上げした。「金利ある世界」が本格化するなか、預金確保や優良企業との取引拡大等で金融機関の優勝劣敗が鮮明化する可能性が高まっている。こうした経営環境に加え、人口減少が深刻となっている東北では、生き残りをかけた金融機関の再編が一層注目されるだろう。